

講義名	日本文化と社会			授業形態	
担当教員	山崎 誠	開講期・曜日・時限	前期集中 日曜日 その他		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	JPN110
主題と概要					
「日本の伝統文化、また日本企業の見学を通し、日本についての理解を深める」ことを目的として、ワークショップとフィールドワークを中心に、「実体験」を通して見聞を広める。 具体的には、茶道、華道を自ら体験し、その文化の中に隠れている教えや考え方などから、日本人や日本文化の理解につなげる。 さらに日本社会を支える日本企業についての必要な知識を学び、実際に企業を見学することで日本企業についての理解を深める。					
到達目標					
１．ワークショップとフィールドワークを通して日本の伝統文化を実際に体験し、理解する。 また、日本企業を見学することで、実務内容や会社内の雰囲気などを知り、理解を深める。 ２．現代の生活と比較しながら伝統文化の中にある考え方を理解する ３．着物の「帯、裾、襟、着」や茶道の「一期一会」なる伝統的な文化に関することばを理解する ４．日本の代表的な企業や製茶業などの伝統の企業の特徴などを知り、実際に見学することでさらに知識を広げることを目標とする。 ５．ルールを守りクラスメートと協力してワークショップやフィールドワークに取り組む。					
提出課題					
必要に応じて授業内で通知する					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
授業中に質疑を行う 質問等はメールなどで対応する					
評価の基準					
日本の文化をしっかりと体験できている 日本の文化を理解するよう努力している 日本企業について知識を得て、その特徴を知ることができる 日本企業の見学を通して、日本人とどのように働くかを考えることができる 日本のルールを守りクラスメートと協力している					
履修にあたっての注意・助言他					
実際に企業や文化施設を見学する際、働いている人や係の人のいうことに従うこと 日本の文化に触れ、ワークショップを楽しみながら学びましょう 日本のルールに従って、フィールドワークなどを行い、他の人に迷惑にならないよう行動しましょう 他のクラスメートを尊重して、助け合いながら学びましょう					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.なし。					

その他		
授業計画		
1. 5月24日(土) 授業説明、いけばな体験及び解説、着物の紹介、日本企業について、フィールドワークの準備 2. 6月14日 フィールドワーク：神戸市立博物館、株式会社アシックス見学 3. 7月 5日 ワークショップ（着のマナー、食事のマナー、折り紙等）、振り返りと発表		
第1回 授業説明とスケジュール確認 予習内容：いけばな、着物、企業について事前に調べ、わからない日本語があれば調べておく。（120分×5回） 復習内容：ワークショップの内容について整理・復習しワークショップや授業の理解を深めること（120分×5回）		
第2回 フィールドワーク 予習内容：博物館の展示内容、見学する企業について事前に調べ、わからない日本語を調べておく。（120分×5回） 復習内容：フィールドワークの内容について整理・復習しワークショップや授業の理解を深めること（120分×5回）		
第3回 フィールドワーク 予習内容：日本のマナーや折り紙について調べ、わからない日本語を調べておく。前回までの授業内容についての発表の準備をする（120分×5回） 復習内容：フィールドワークの内容について整理・復習し、授業内容や自身の発表の理解を深めること（120分×5回）		